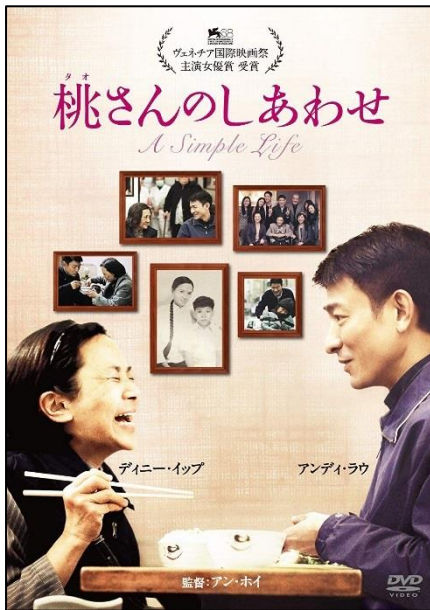


No.110 2018. 12. 10 会報「**青樹会**」 会報事務局 〒331 - 0825

中国内モンゴル沙丘・草原緑化研究会 さいたま市北区榑引町 2-574-2 GA 大宮 111 号
代表 押田 敏雄 押田 敏雄 方(青樹会事務局長代行)
(Tel & Fax 048 - 664 - 5884)
<http://www5a.biglobe.ne.jp/~aojukai/> e-mail:oshida@azabu-u.ac.jp

1. 「2019 年映画鑑賞会」と「新年会」のご案内



12 月も残すところ僅かになってきました。押田が原稿書きやその他の雑事に追われて会報の作成が滞っていました。悪いことに、109 号を作成した直後に、パソコンのデータが操作ミスで全部、消去されてしまいました。実は、記事も集まっていません。

2019 年新春も中国映画の鑑賞会を企画しました。日時は新年会と同じ日で、新年会の前に映画鑑賞会を開催します。

記

日時:2019 年 1 月 19 日(土) 14:00~
場所:八重洲倶楽部(第 6 会議室)

八重洲倶楽部

住所:東京都中央区八重洲 2-1 八重洲地下街中 1 号
Tel 03(3275)0801 Fax 03(3275)1106

解説

2011 年・第 68 回ベネチア国際映画祭で女優賞を受賞したほか、台湾金馬奨や香港金像奨で主要部門を多数受賞したヒューマンドラマ。60 年間、同じ家族に仕えてきたメイドの桃(タオ)が脳卒中で倒れてしまい、それまでごく当たり前前に身の回りの世話をしてもらっていた雇い主の息子ロジャーは、桃の介護に奔走することになる。そのことをきっかけにロジャーの心境も変化していき、2 人の間には実の母子以上の絆が生まれていく。桃役は 11 年ぶりの銀幕復帰となったデニー・イップで、中華圏の女優としては「秋菊の物語」のコン・リー以来史上 2 人目のベネチア映画祭女優賞受賞者に。ロジャー役のアンディ・ラウがプロデューサーも務め、ノーギャラで出演したことも話題。共演にアンソニー・ウォン、サモ・ハン・キンポーら。

あらすじ

桃さん(デニー・イップ)は少女のころから 60 年間、香港の裕福な家庭にメイドとして仕えてきた。大家族のほとんどは海外に移住し、今は香港で映画プロデューサーとして活躍する長男ロジャー(アンディ・ラウ)の世話をしている。桃さんは掃除、洗濯、料理を完璧にこなし、ロジャーはそれを当たり前のように享受していた。ある日、桃さんが脳梗塞で倒れる。桃さんは迷惑をかけないように、メイドを辞めて老人ホームに入るとロジャーに告

げる。ロジャーは桃さんのために老人ホームを探し、かつての仕事仲間で、老人ホームを手広く経営するバッタ(アンソニー・ウォン)の施設に決める。施設の料金体系は複雑で、ロジャーは老人介護の現実を少しずつ学んでいく。主任のチョイ(チン・ハイルー)に迎えられて、桃さんは老人ホームに入居する。施設には、さまざまな事情を抱えた入居者たちが暮らしていた。カーテン1枚で辛うじてプライバシーを守られた部屋で、桃さんはこれからの生活を案じる。そんな中、時間を見つけては訪ねてくるロジャーの存在が、桃さんの支えとなる。何事も桃さんのペースに合わせるロジャーの姿に、2人を母子と誤解する者もいた。やがて桃さんはホームでの生活に慣れ、その穏やかで凛とした性格から、従業員や入居者から頼りにされるようになっていた。しかし、間近で入居者の死を目の当たりにし、自分にも最期のときが近づいていることを感じていた。そんな思いを、ロジャーの存在が払拭してくれる。2人で過ごす日々は、お互いにとってかけがえのないものになっていく……。

映画鑑賞会後の懇親会(新年会)については、八重洲倶楽部の近隣で開催することになりますが、在、樋川さんが検討中です。決まりましたら、各位に場所、会費などを連絡する予定ですので、暫くのご容赦をお願い致します・・・なお、映画鑑賞会、懇親会ともに参加者の人数把握を行いたいのので1月12日(土)まで、押田あてに連絡を頂ければ、幸いです!!
e-mail:oshida@azabu-u.ac.jp / 押田の携帯 090-4623-0060

2. まさかの飲み会



去る11月25日(日)に東京国際フォーラムで「国産ジビエシンポジウム」と言う催事がありました。これは中村民夫会長が勤務する日本食肉消費総合センターがジビエについての理解を一般市民に深めることを意図したイベントでした。

10月中旬の朝日新聞の全国版に参加者募集の案内が掲載され、それにエントリーし、抽選に当選した人々200名が招待されました。



「話題の国産ジビエをもっと知ろう!!」

ソーシャル&ヘルシー 国産ジビエ シンポジウム

日時 2018年 11月25日(日)
13:30～16:00

会場 東京国際フォーラム D7会議室
東京都千代田区有明3-1-1
03-3543-1117

200名様
無料招待!

抽選参加
先着200名様にジビエカレーをプレゼント!

アンケート
お答えいただいた方の中から抽選で10名様においしいジビエ肉をプレゼント!

入場特典
SNS投稿キャンペーンを実施!
抽選で10名様にジビエ肉をプレゼント!

第1部 基調講演

「ジビエ消費の意義と取組みについて」(仮)
一般社団法人 食肉加工技術振興協会 専任アドバイザー オークワード
藤本 健彦氏

「ジビエの現状と今後の展望について」(仮)
株式会社食肉振興 取締役 兼 代表取締役 兼 取締役 兼 取締役 兼 取締役
押田 敏夫氏

「ジビエ利用拡大の推進策について」(仮)
株式会社食肉振興 専任アドバイザー 兼 代表取締役 兼 取締役 兼 取締役
冨家 義典氏

第2部 パネルディスカッション

司会 11月25日 菊吹 淳
本報 文化編集長

パネリスト
菊吹 淳 氏
伊藤 直美 氏 日本食肉消費総合センター
北澤 裕樹 氏 株式会社食肉振興専任アドバイザー
高川 裕次 氏 日本食肉消費総合センター
藤本 健彦 氏 JRA(日本中央競馬会)代表理事
宮城 聡 氏 日本食肉消費総合センター

主催：日本食肉消費総合センター http://www.jrc.or.jp/ 協賛：一般社団法人 食肉加工技術振興協会

押田も基調講演で講演することで目にとまっの応募だったと思いますが、青樹会関係者が何と11名もいましたので、折角なので・・・と言うことで、シンポジウム終了後に急遽、国際フォーラム近くの店で懇親会となりました。窪田さんもジビエには関心が高いということで、長野から遠路を来て下さいました。

ジビエについての詳細を知りたい、興味がある・・・という方は、是非、押田あて連絡を下されば、資料提供や情報を紹介することが可能です。

3. ハルバラの次男が結婚しました

去る10月20日(土)にウーランアオジュ村の獣医さん・ハルバラの次男さんが結婚しました。

9月26日に孟ちゃんから、以下のようなメールが届きました。

「こんにちは、ご無沙汰しております。お元気ですか？青樹会の皆様にもよろしくお伝えください。私もおかけさまで元気しております。さて、乌兰敖都のハラバラの二番目息子の結婚式は10月20日乌兰敖都村のレストランで開きます。それでハラバラさんから私に電話があつて皆様(青樹会)を都合がよければお越し下さいと言っていました。じゃでは・・・」



ハラバラの長男の結婚式には村を訪問していた時と重なり、何人かでお祝いに行きましたが、どうも、今回も同じレストランだったようです。

行ってみたい気持ちは十分にありましたが、生憎と先約があり断念しました。

なお、孟ちゃんも招待され、ハラバラやハラバラの奥さんと撮った写真、新郎新婦の写真を送って下さいました。

10月30日にハラバラの長男から以下のメールがきました。孟ちゃんに翻訳をして貰ったものを紹介します。

「私はハラバラの長男ゲハマシトです。現在内モンゴルの呼倫贝尔で生活をしていま



す。お元気ですか？この前弟の結婚式に故郷に一回帰りました。村の皆さんは秋の収穫で忙しいです、私帰ったばかりに植物園のオボ山に行った。秋空が高く空気がすがすがしい、景色は色とりどりと美しいです。当年青樹会の皆さんと一緒に植えた木は大きくなりました。この綺麗な景色をみると皆さんを思い出します、、皆さんは私の子供頃のいい思い出になりました。じゃあお元気で、、もうし時間があればウランオド村にお越しください」

4. 「第31回 ゆうちょ・国際協力報告会」に参加して



去る10月24日(木)、15時から一般財団法人「ゆうちょ財団 国際ボランティア支援事業部」主催の標記報告会がAP秋葉原で開催され、野上参与と押田が参加しました。



ゆうちょ財団の賛助会員並びに「当財団の助成」、「旧国際ボランティア貯金」の寄附金配分、「JICA基金」の支援を受けた等のNGO団体、また、一般の方々を対象とした国際協力報告会です。

報告会は初めに、財団の朝日理事長の挨拶、続いて、国際ボランティア支援事業部長・安芸氏より「新たなNGO海外援助活動助成について」の説明がありました。

続いて、2018年度団の助成を受けて活動をしている、特定非営利活動法人地球の友と歩む会の古賀氏より、「インドネシアスンバ島における村人の生活水準向上のための有機農業支援」の講演、次いで、特定非営利活動法人シャプラニール=市民による海外協力の会の菅原氏より、「バングラデシュで家事使用人として働く少女たちの実態と支援」と題した講演がありました。

また、報告会の後に意見交換会も設定され、お互いの苦労話などを披露し合いました。

5. 訃報 . . .



愛知県高浜市在住の兵藤紀美雄さん(享年79歳)が2018年10月16日にご逝去されたそうです。内蒙古のツアーにも2回参加(1998年夏、2001年夏)されました。ご息の文男様からの年末の喪中葉書で知りました。

腹おどりの余興をステーションでの交歓会でやってくれたことを良く覚えています。ご冥福をお祈り致します(押田敏雄)



6. 会報の原稿を募集しています



最近、気になること、私の提案、中国情報、その他なんでも原稿をお寄せ下さい。あて先は押田(oshida@azabu-u.ac.jp)へ、メールで戴けると幸いです。なお、メールが困難な場合にはfax(048-664-5884)か郵送で(331-0825 さいたま市北区榎引町2-574-2 GA大宮111号)押田敏雄までお願い致します。

